

「景観形成の考え方」





敷地




敷地

- ・地区 : 北仲通南地区
- ・位置 : 中区本町6丁目50番地の10
- ・敷地面積 : 約13,486㎡



■敷地の概要

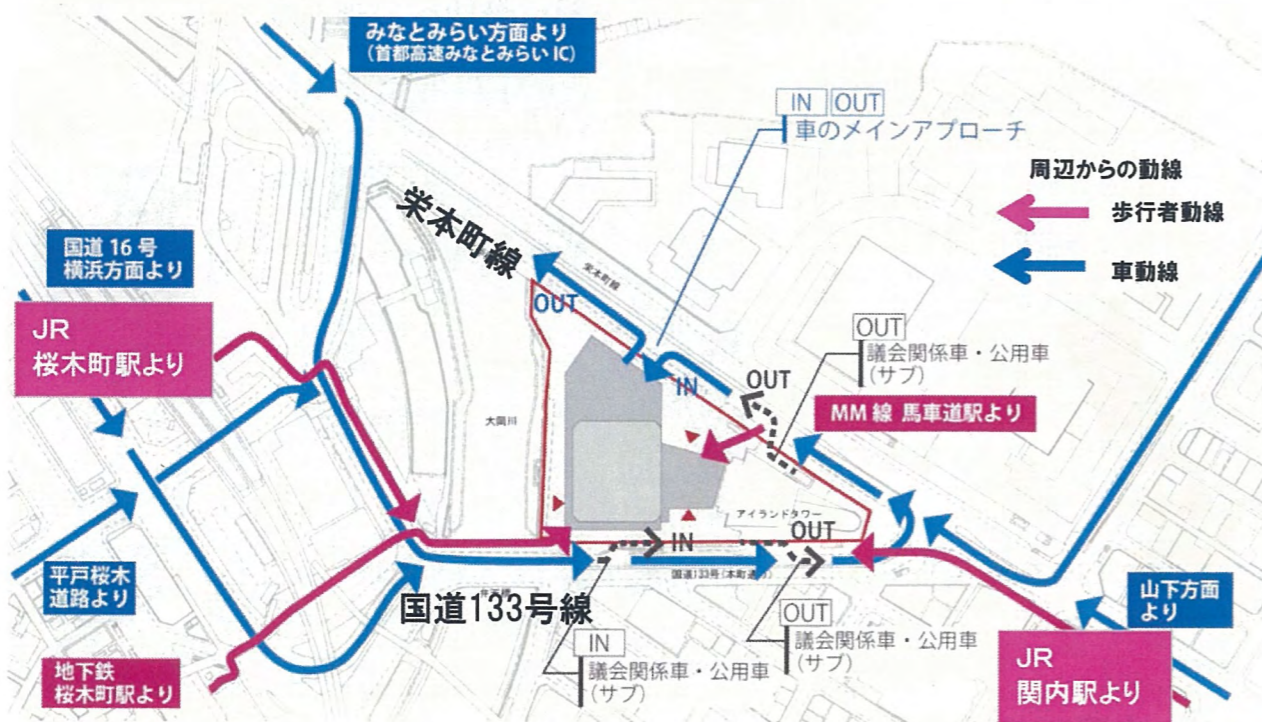
地区	北仲通南地区	敷地面積	約 13,500 m <sup>2</sup>
位置	中区本町6丁目50番地の10 	現況	更地
周辺環境	馬車道駅(みなとみらい線)から徒歩1分 桜木町駅(JR、市営地下鉄)から徒歩5分	主な都市計画制限等	用途地域：商業地域 容積率の最高限度：1,080% 高さの最高限度：190m 北仲通南地区第二種市街地再開発事業 北仲通南地区再開発地区計画
		ガイドライン	北仲通地区まちづくりガイドライン 関内地区都市景観形成ガイドライン

■敷地周辺現況写真



MM21から敷地西側

■動線計画（「新庁舎整備計画概要」抜粋）



大岡川水際線プロムナード



旧第一銀行(YCC)側



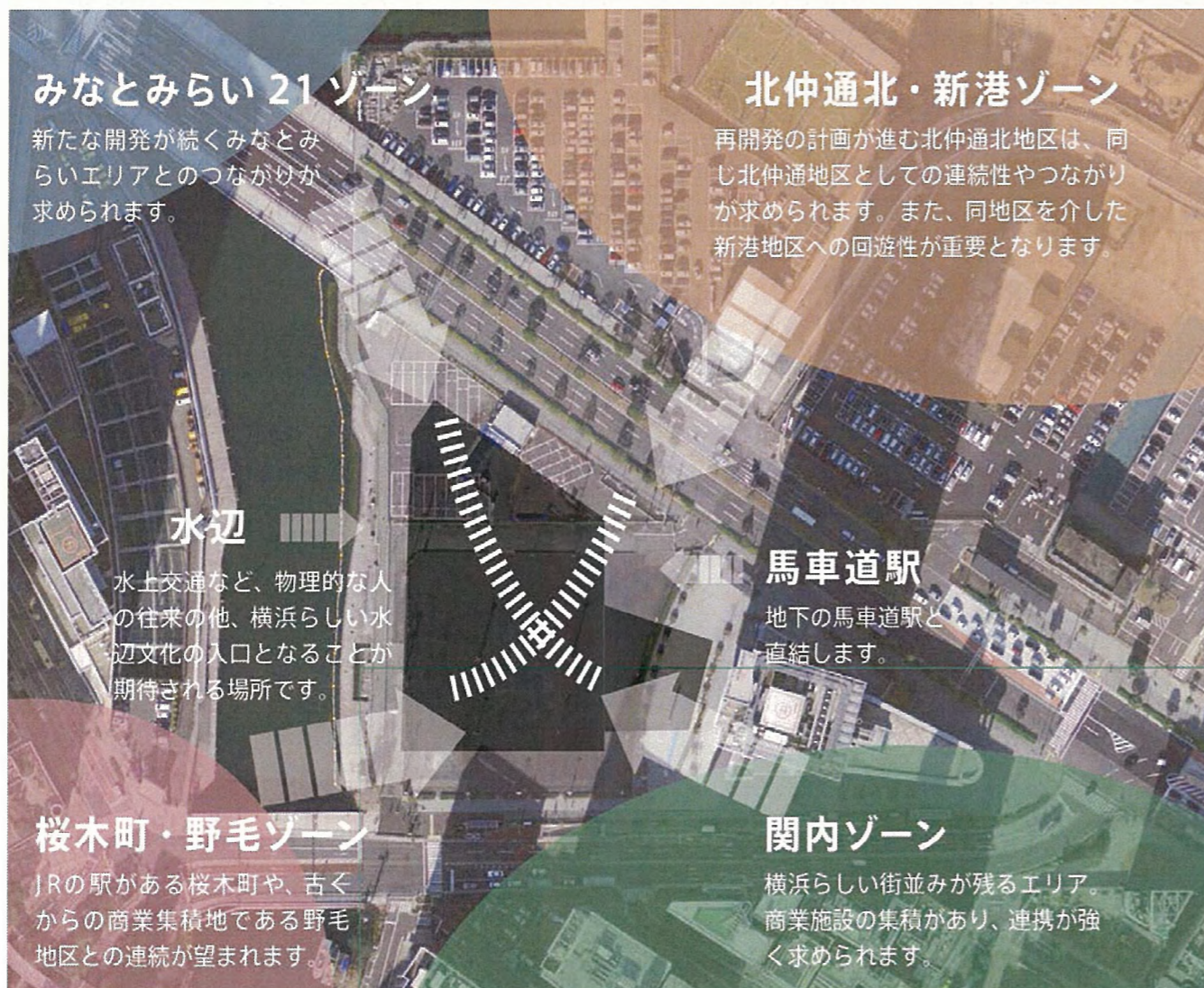
■横浜市新庁舎デザインコンセプトブック(抜粋)

地区特性と地区に建つ建築のあり方

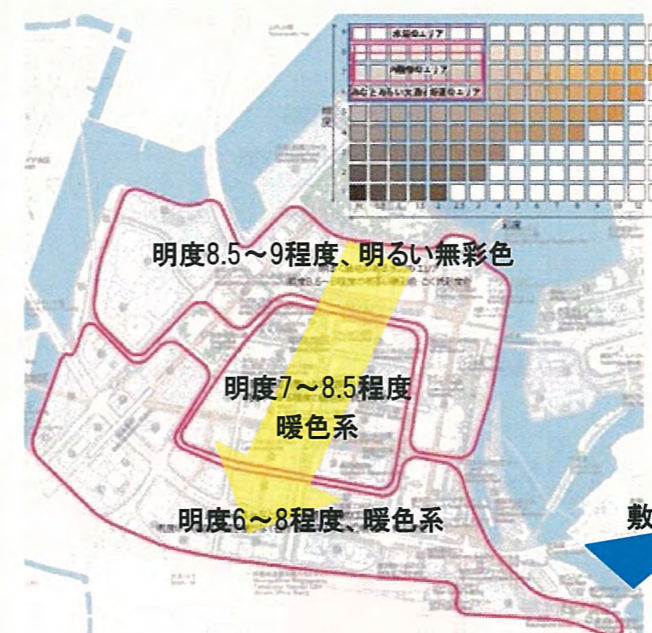
- ・北仲通地区全体、及び北仲通南地区は各エリアを結ぶまちの結節点
- ・地区に大切に残されてきた歴史的資産の活用が重要
- ・横浜らしい、水辺に面した敷地であることを最大限に活かす



横浜港の魅力ある都市景観への調和 (横浜市港湾局提供)



横浜を代表するエリアをつなぐ結節点



水辺エリアの色彩景観

(MM21中央地区都市景観形成ガイドライン)

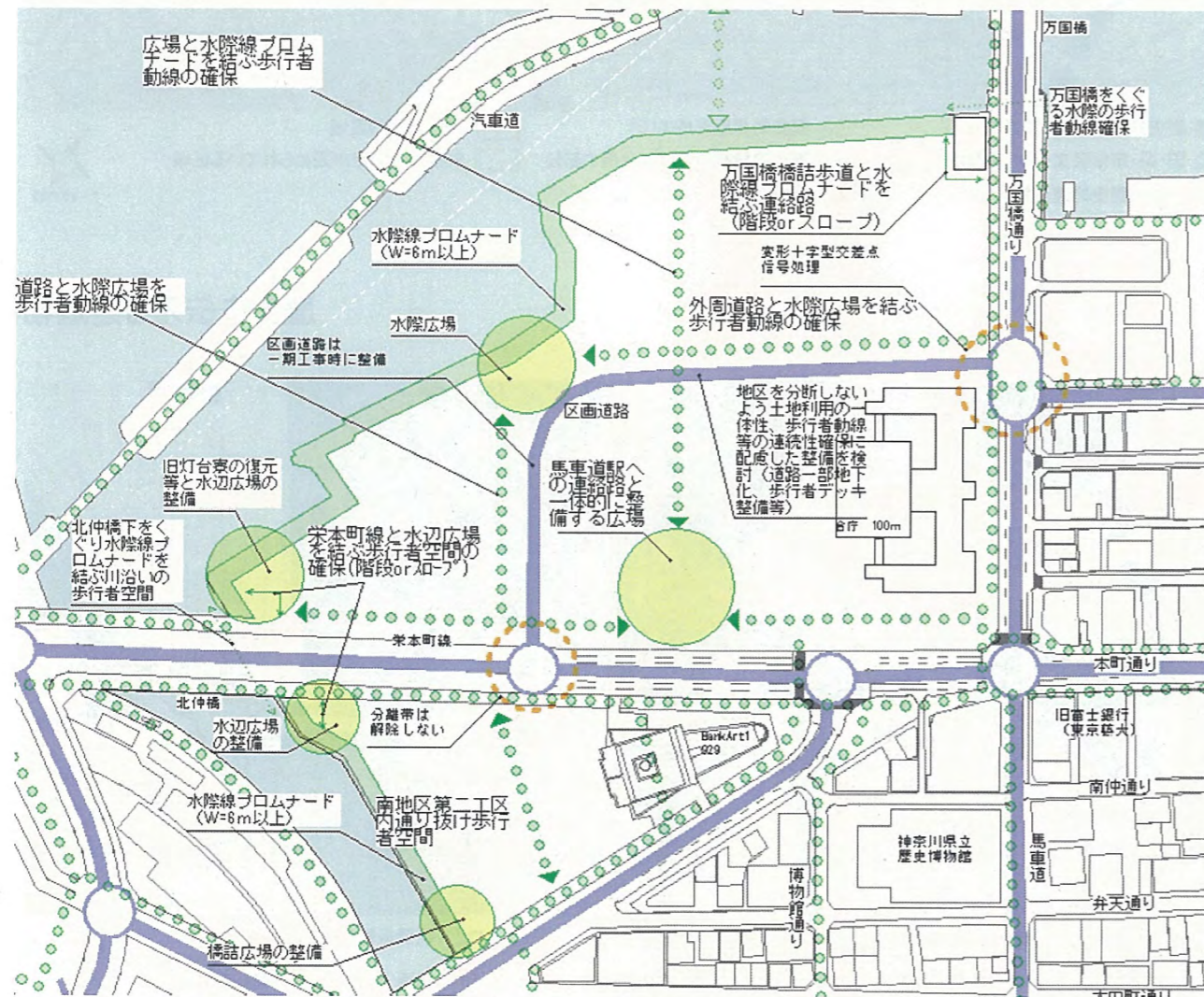


周辺の歴史的資産

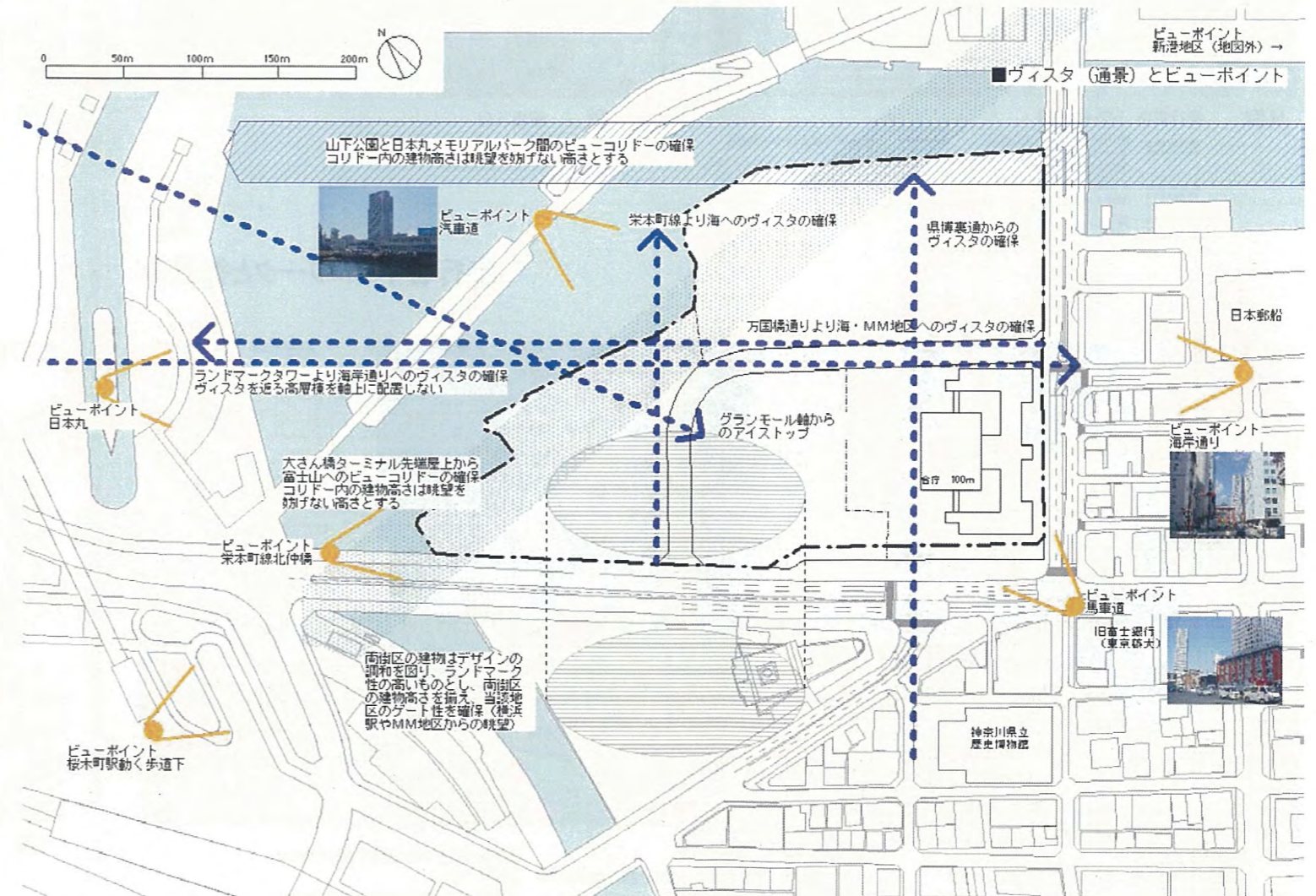


■北仲通地区まちづくりガイドライン(抜粋)

- ・歴史的建造物・土木遺構の保全活用
- ・街並みの形成
- ・ウォーターフロントの形成
- ・歩行者動線ネットワーク
- ・広場、公園
- ・ヴィスタ(通景): 港の景観を特徴づける工夫
- ・絶対高さスカイライン: なだらかなスカイラインの形成



ウォーターフロントの形成・歩行者動線ネットワーク・広域広場



ヴィスタ: 北仲通北・南両地区の建物デザインの調和・ゲート性の確保

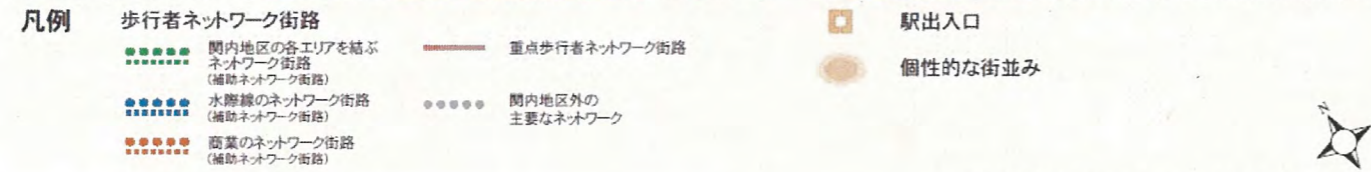


■ 関内地区都市景観形成ガイドライン(抜粋)

<<北仲通り南準特定地区>>

□ 北仲通り南準特定地区の魅力ある都市景観の創造のための方針

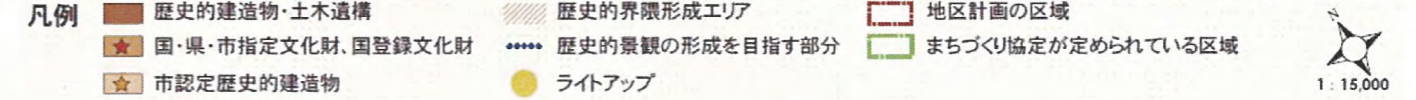
関内地区の歴史的景観を尊重し、  
関内地区とみなみらい21地区の結節点としてふさわしい街並みの形成



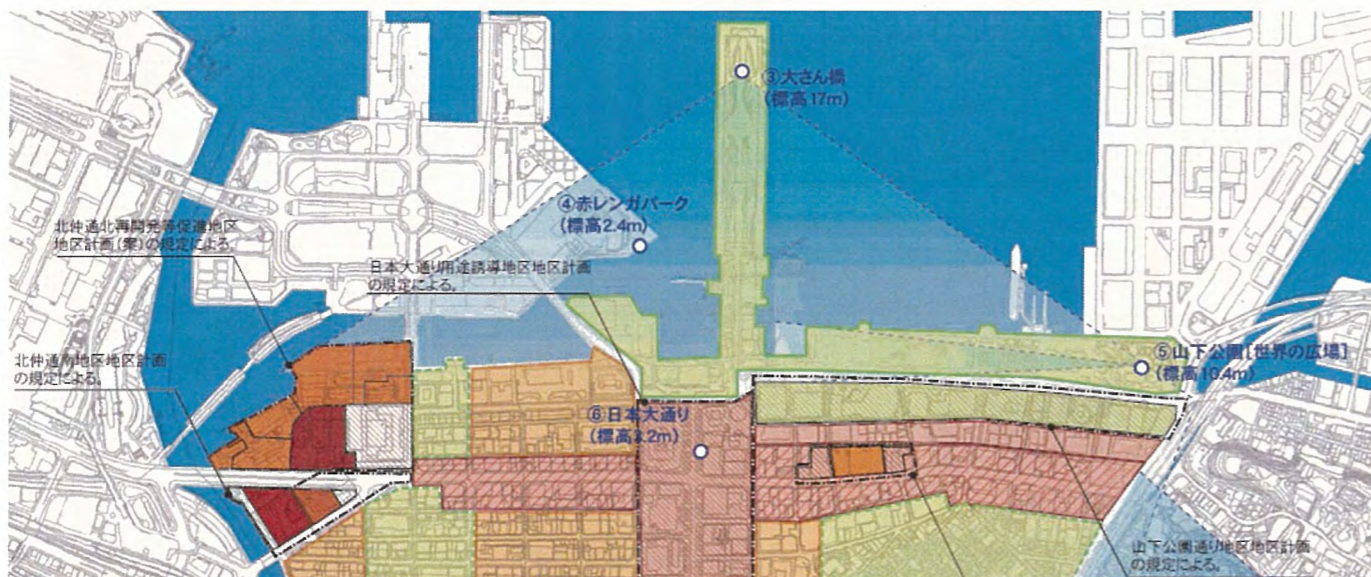
歩行者ネットワークと街並み

□ 行為指針

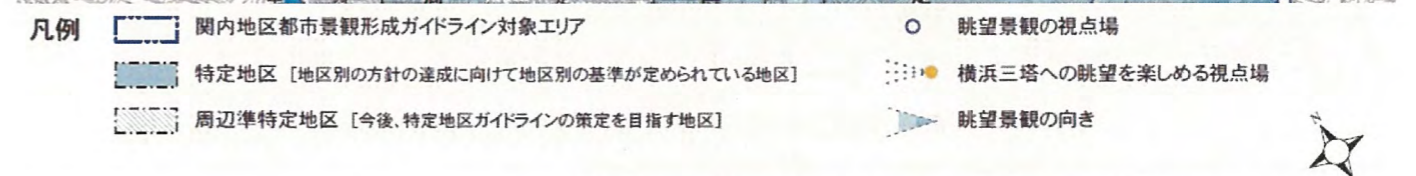
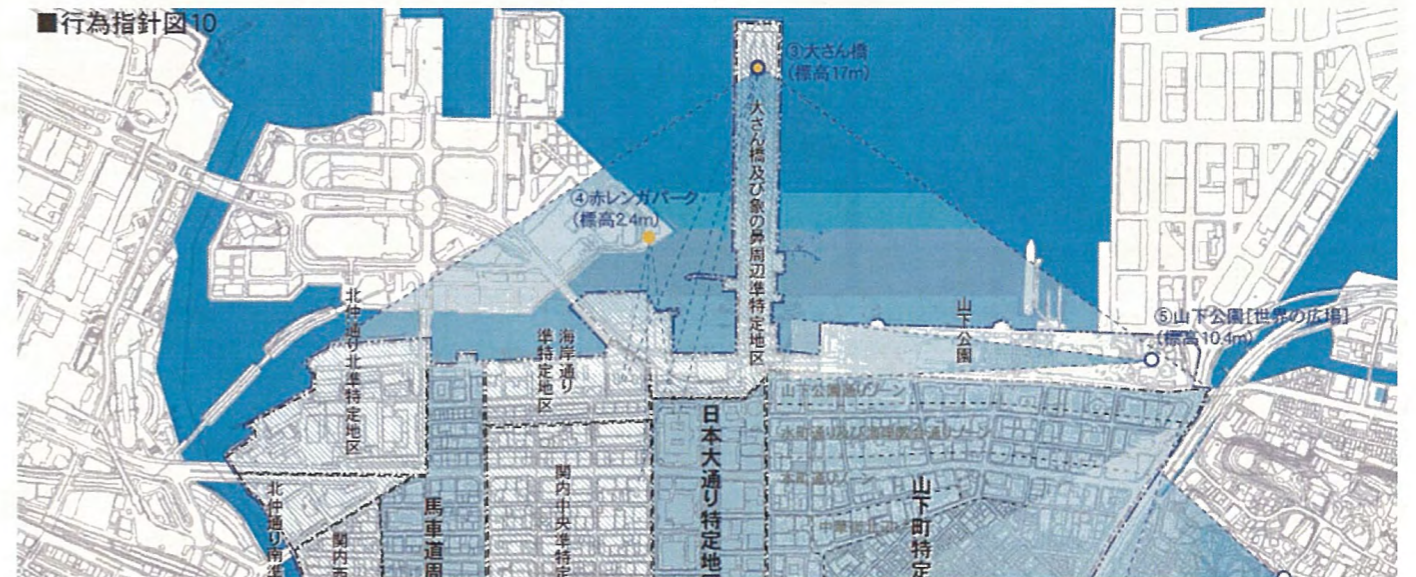
- (1) ゆとりある歩行者空間や広場の創出により、関内地区と桜木町のネットワークと賑わいのある街並みを形成
- (2) 関内地区の歴史を伝える歴史的建造物に配慮した街並みを形成
- (3) 建築物の高層部分は、周辺環境に配慮し、港からの魅力と品格のある眺望を形成
- (4) 屋外広告物は、自動車道又は大さん橋の「眺望の視点場」から見た景観と調和



歴史を伝える建造物



高度地区の制限緩和の上限値と港からの眺望



「眺望の視点場」から見える屋外広告物のコントロール

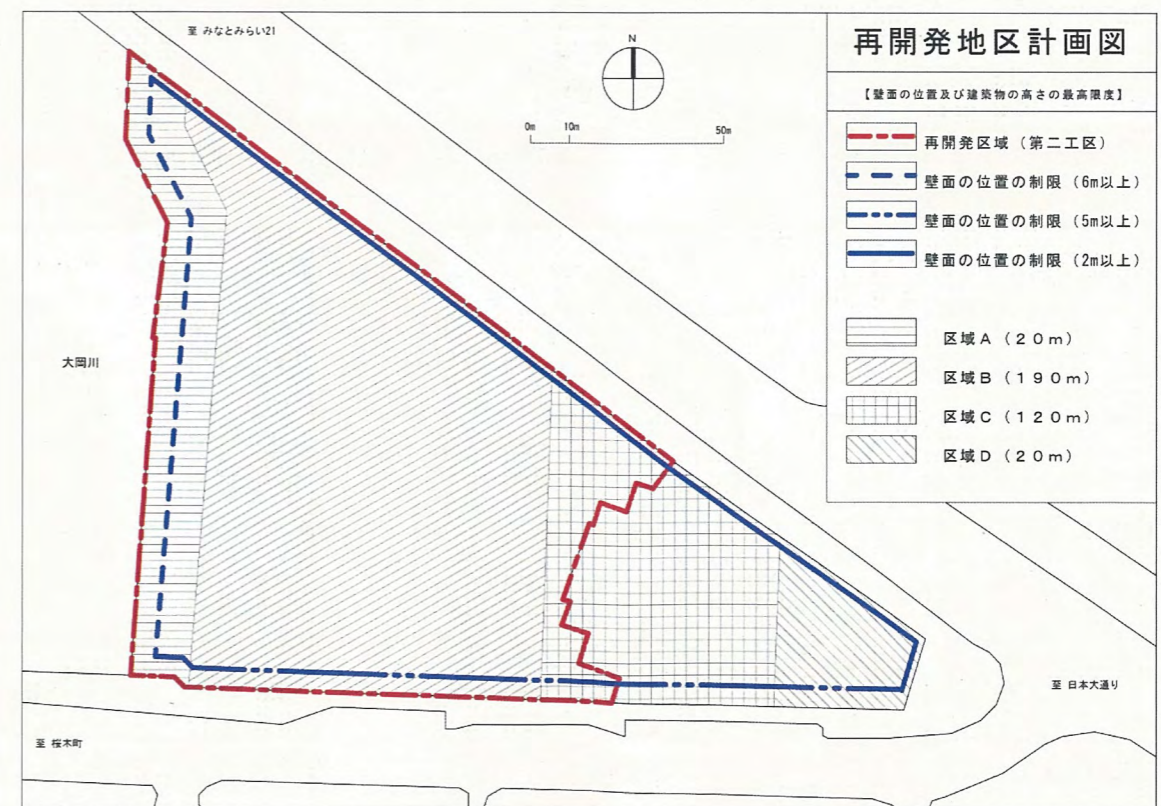
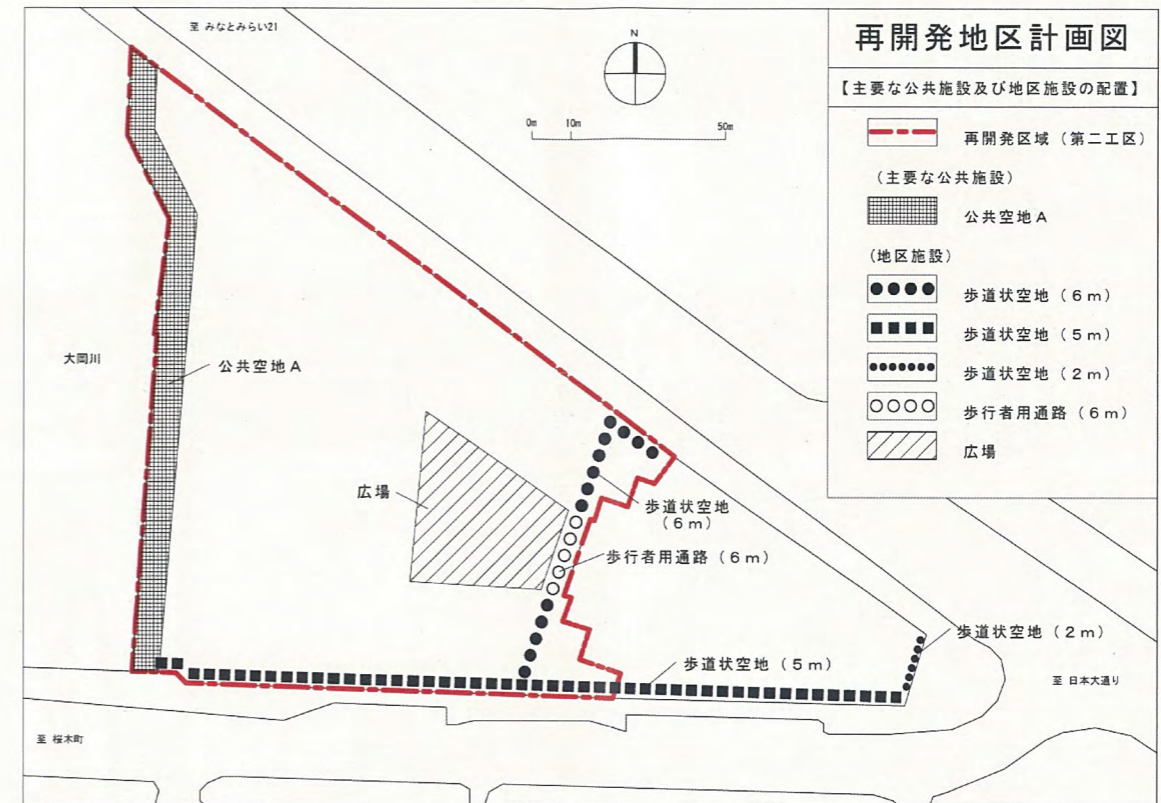
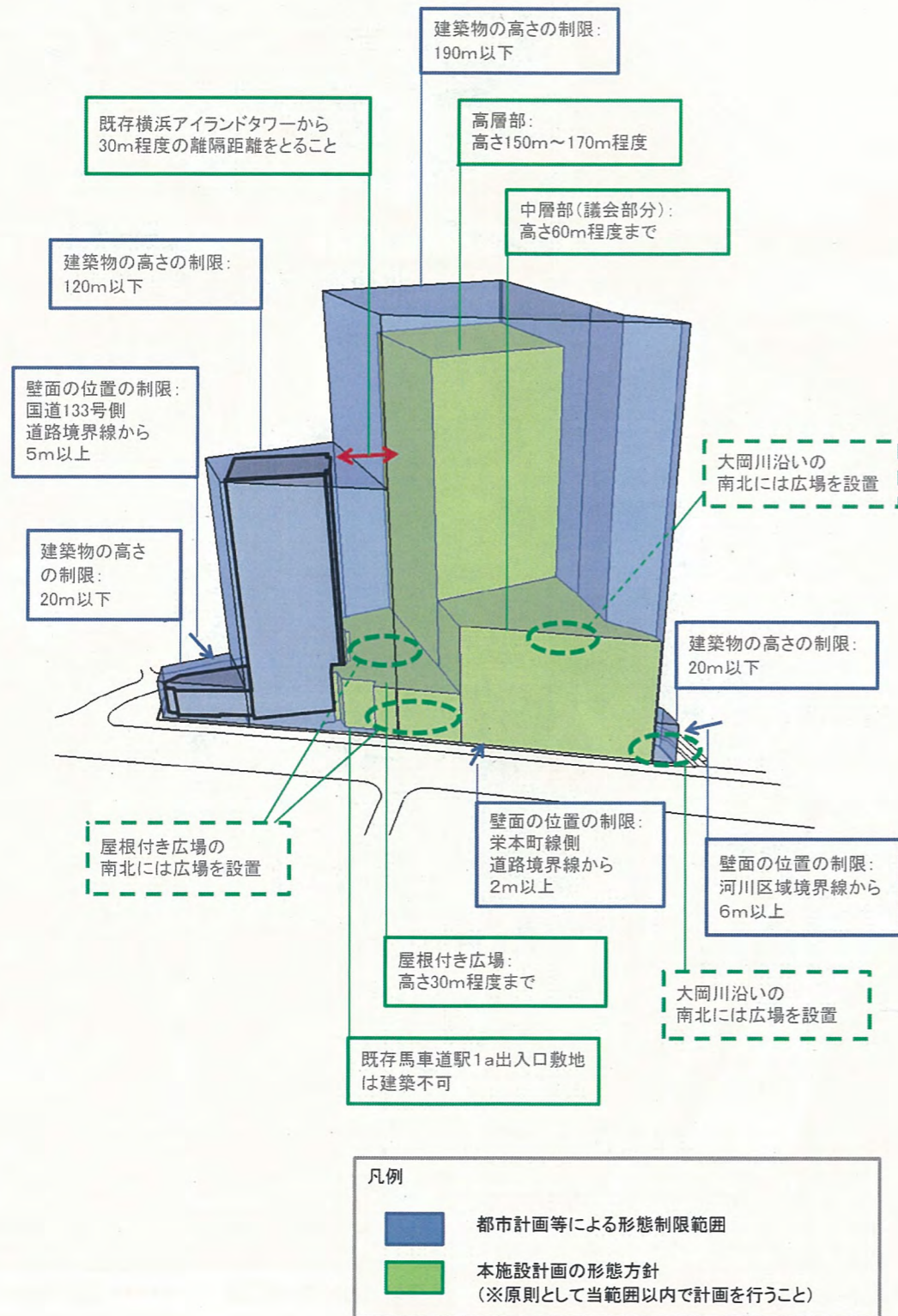


■要求水準・地区計画による形態制限

(横浜市市庁舎移転新築工事:発注仕様書抜粋)

本施設計画の形態方針(イメージ図)

別紙15





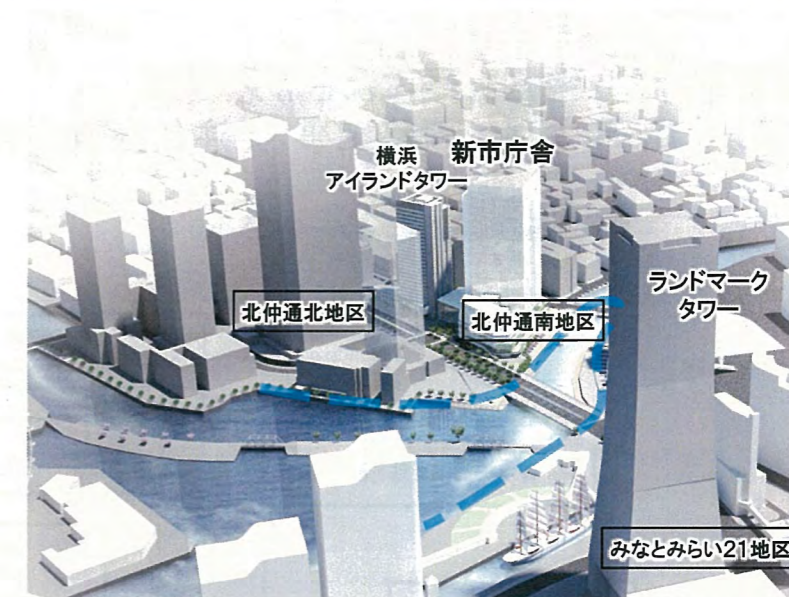
地区に建つ建築のあり方(横浜市新市庁舎デザインコンセプトブック抜粋)

高層建築群として景観を形成する

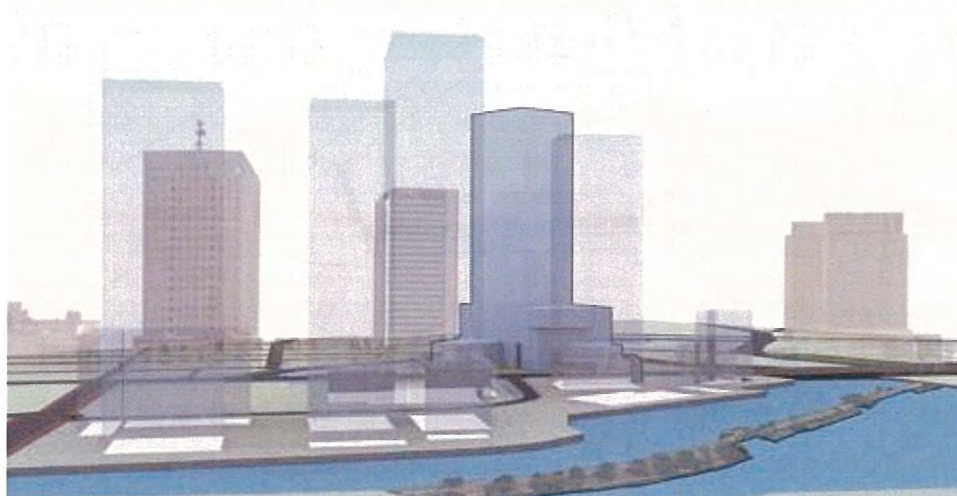
- 遠景:北仲通地区の高層建築群の一部として調和のとれた群景観
- 中景:北仲通南地区と北地区とで作り出すゲート性
- 近景:北仲通南地区における横浜アイランドタワーとの調和

景観形成の考え方

1. 結節点として周りの街並みのスケール・軸線に配慮した建物配置と空間構成
2. ボリューム分割による横浜アイランドタワーとの連続と北仲通地区としてまとまりのある群景観の創出
3. 北仲通南地区のユニークな三角形の敷地の3つのオープンスペースに印象的な景観を形成する建築デザイン
4. 北仲通北地区と南地区の低層棟と高層棟で作り出す街並みのゲート性に配慮



北仲通地区として調和のとれた群景観



北仲通地区全景



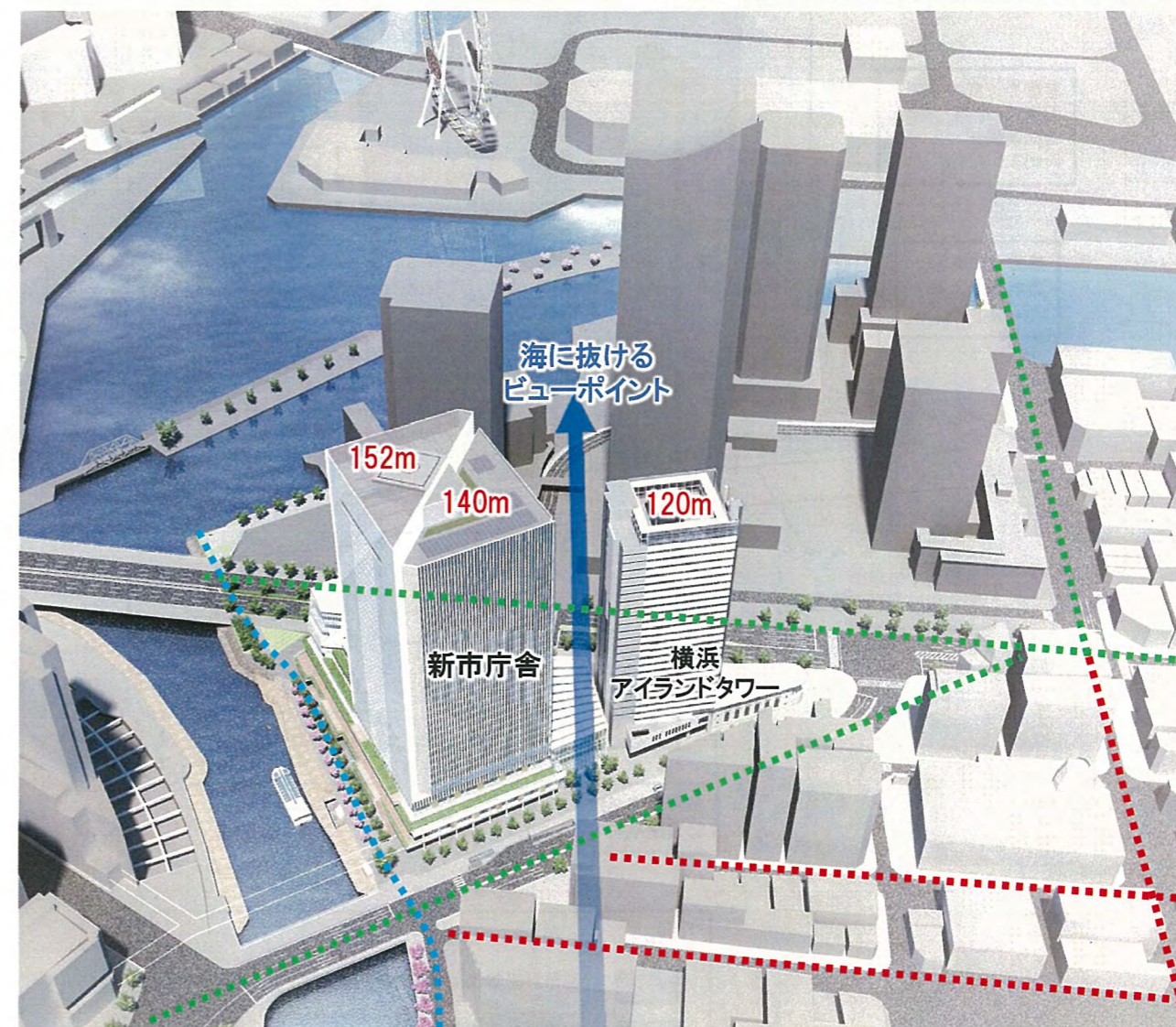
関内方面から:旧第一銀行と一体の横浜アイランドタワー



MM21方面から:北仲通地区と一体で作り出すゲート性



桜木町方面から:分割された高層棟によるシャープな垂直性



高層棟を高さの違う2つのヴォリュームに分割し横浜アイランドタワーと連続する群景観の創出



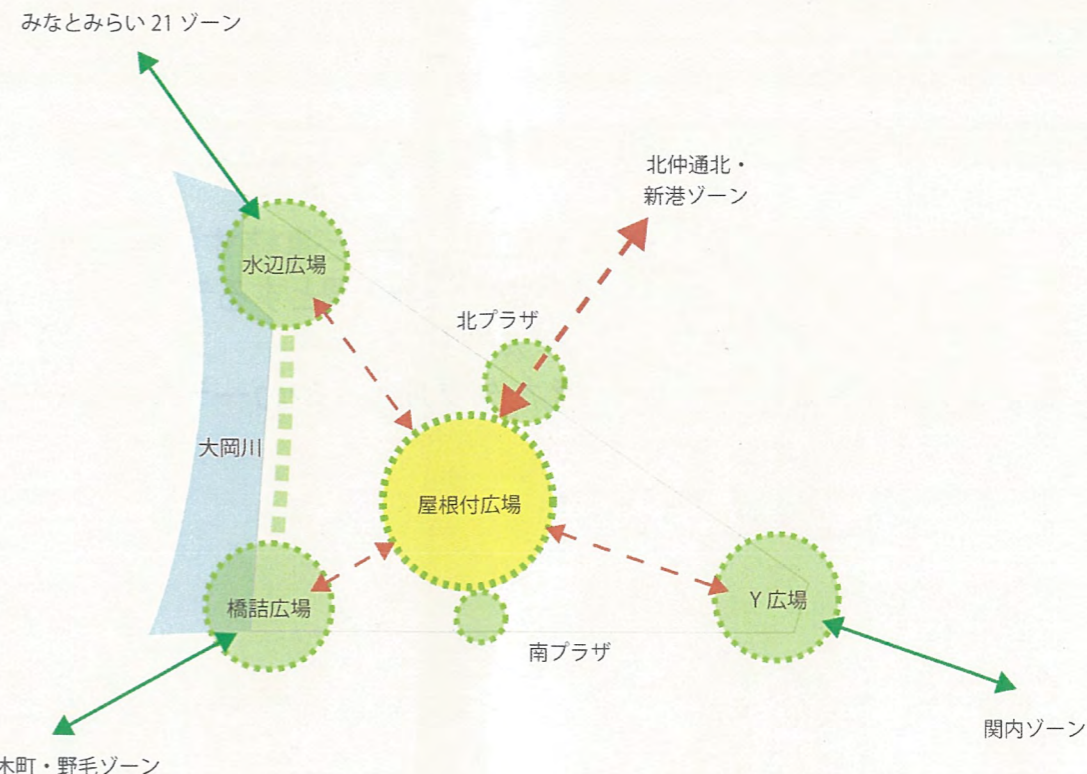
新市庁舎の構成(横浜市新市庁舎デザインコンセプトブック抜粋)

高層・中層・低層の3層構成

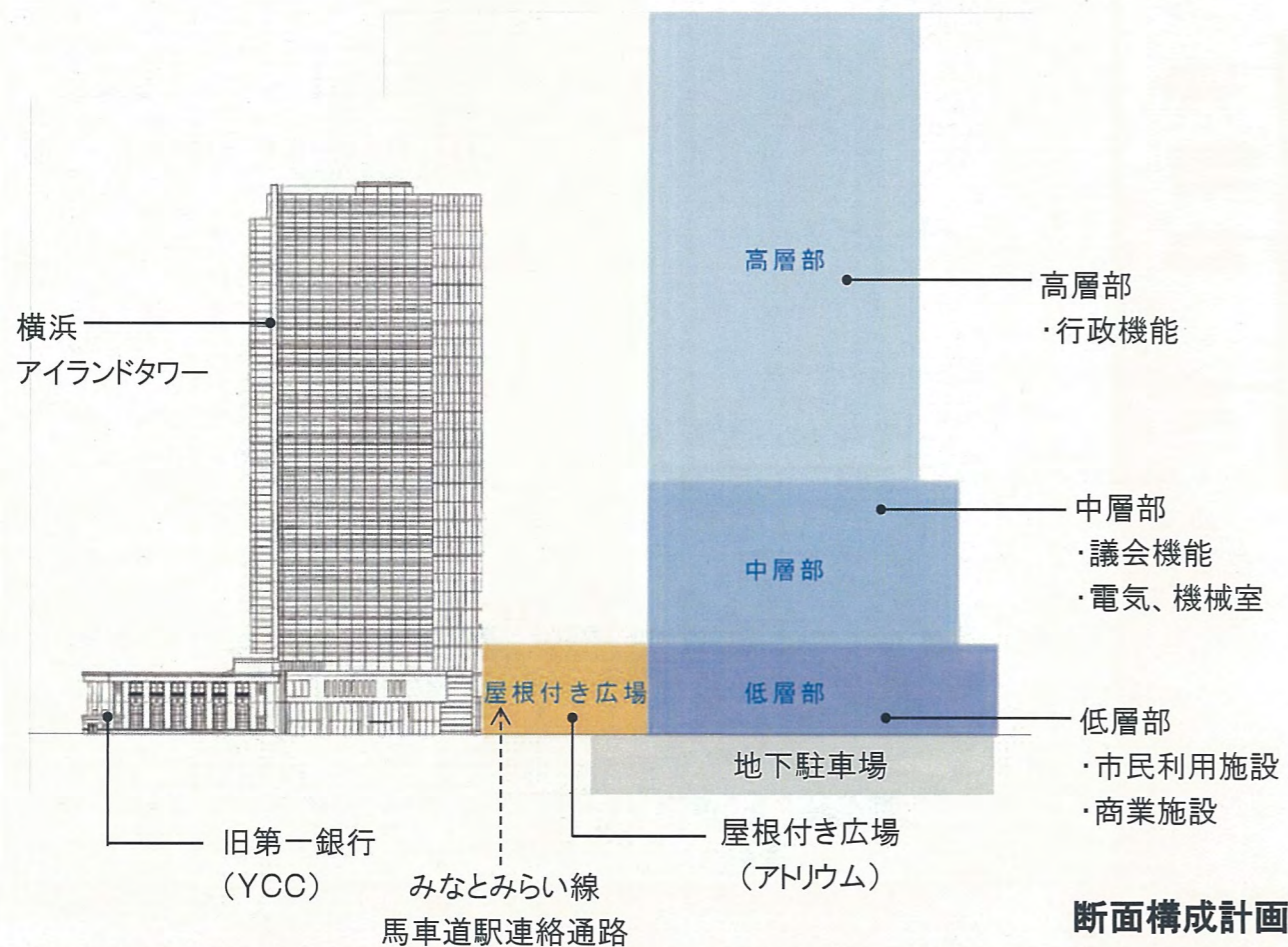
- 高層: 成熟した国際都市にふさわしい、品位ある美しい高層部のデザイン
- 低層: 低層部での活動や賑わいが新市庁舎におけるシンボルとなる
- 中層: 低層・高層部との構成を考えた周辺の街と調和したスケール感

空間構成の考え方

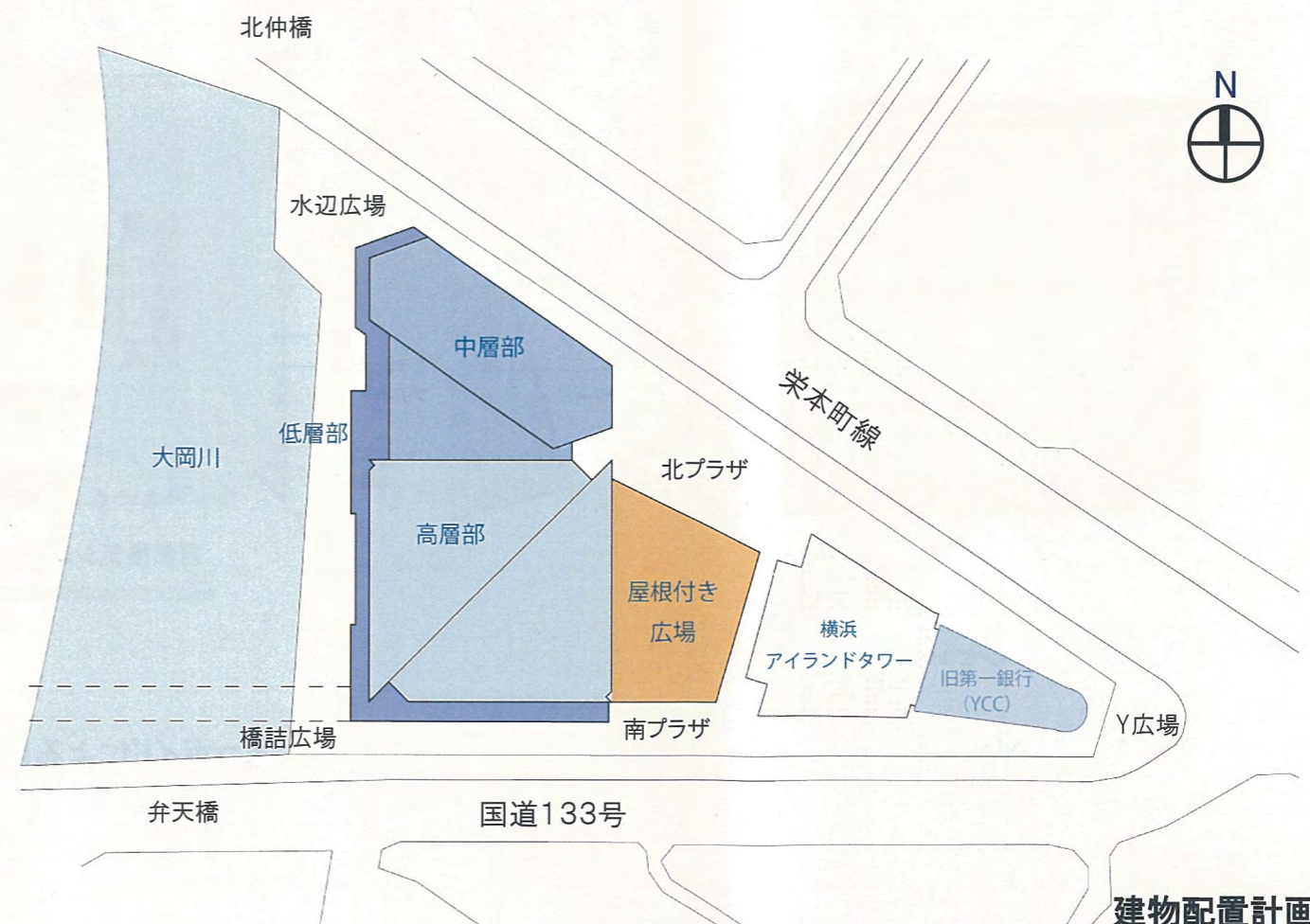
- 高層部(8F及9~31F): 行政機能は8F以上に配置
- 中層部(3F及4~8F): 議会機能は3F及5~8Fに配置、主要機械室は津波を考慮し4Fに配置
- 低層部(1~3F): 市民利用施設と商業施設の混在する街のようなスペース
- 屋根付き広場: 横浜アイランドタワーと新市庁舎をつなぐ配置



建物配置の考え方: 周辺エリアとつながり、多様な活動と賑わいを創出する結節点



断面構成計画



建物配置計画



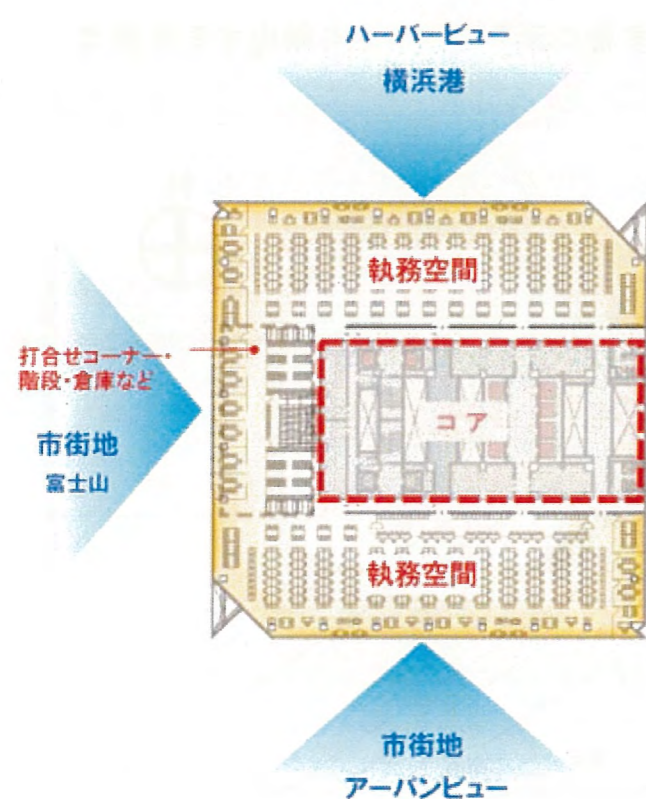
高層部のあり方

高層部デザイン: 国際都市にふさわしい品位あるたたずまい

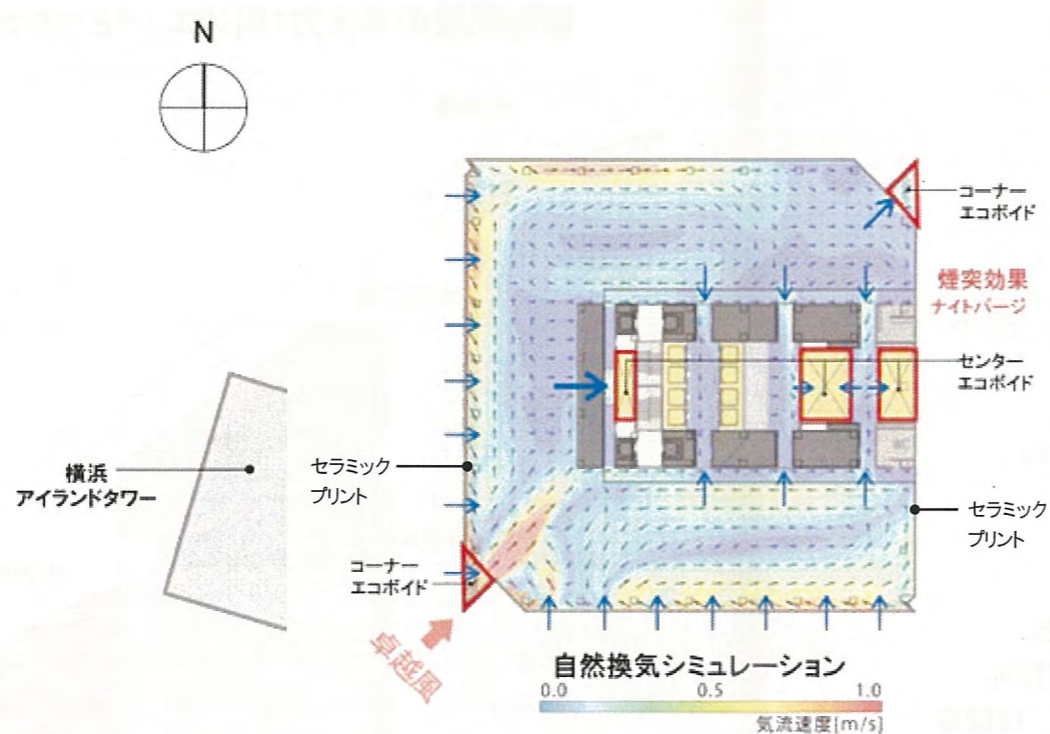
1. ボリュームを分割し横浜アイランドタワーと連続する群景観
2. 白いシルクの透明な質感と垂直性を基調とするデザイン
3. 垂直ラインを構成する白いアルミのマリオン
4. 眺望と環境性能を兼ね備えたダブルスキンカーテンウォール



北仲橋からの外観



基準階平面構成



エコポイドによる自然換気



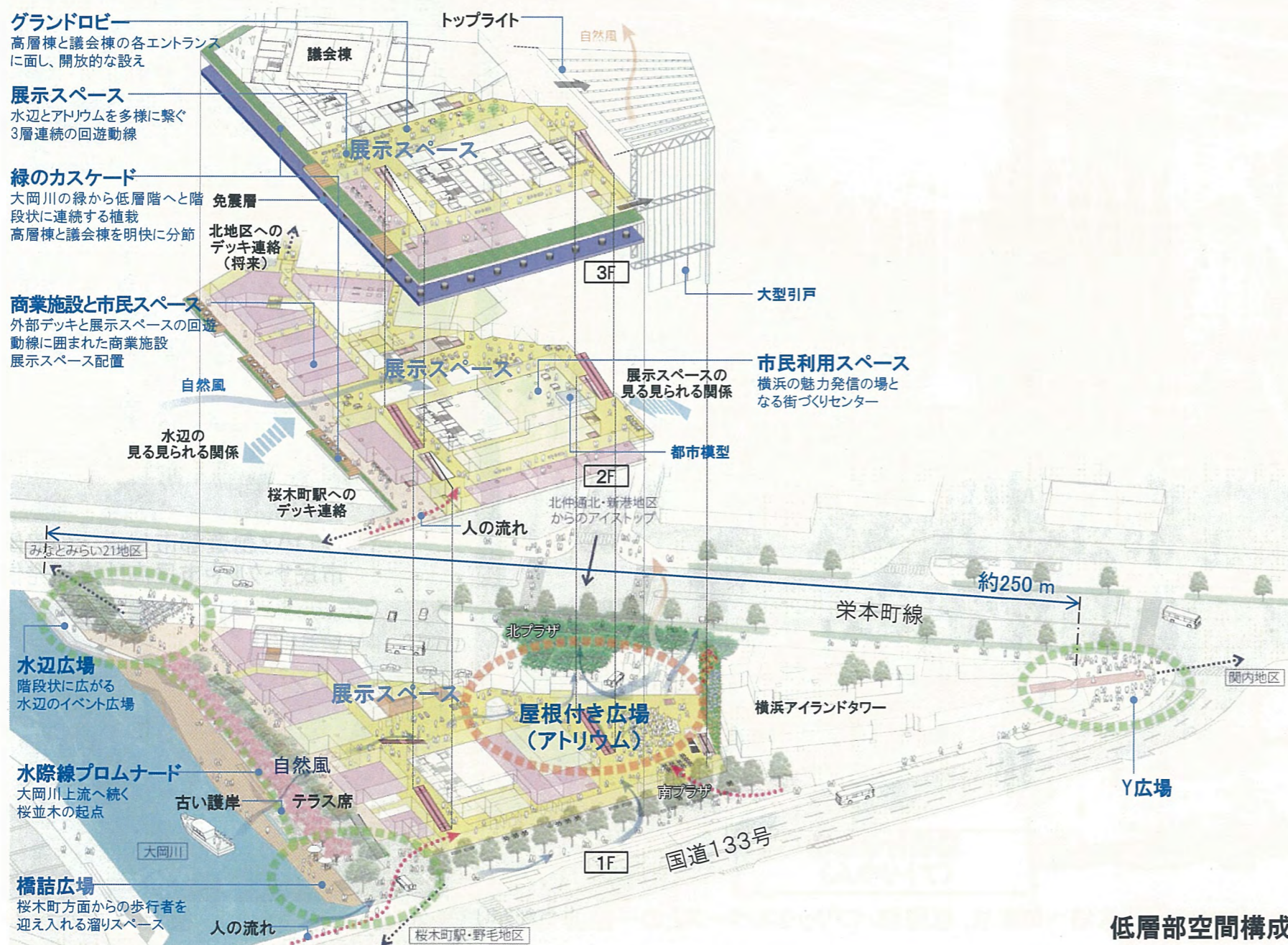
弁天橋方面からの外観



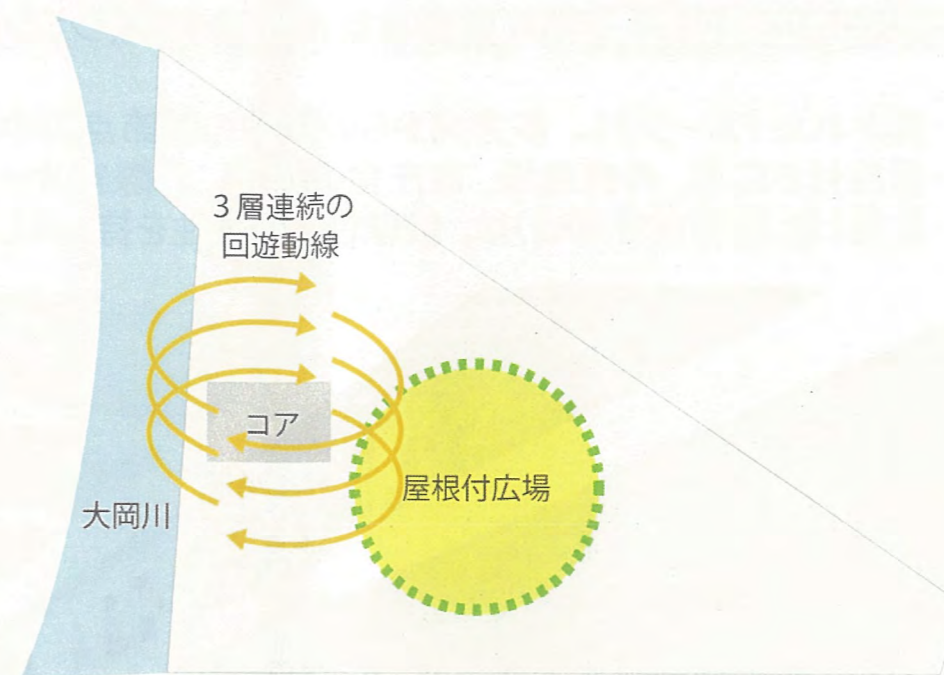
低層部のあり方

開かれた市庁舎として、市民が自由に集い活動する街のような低層部

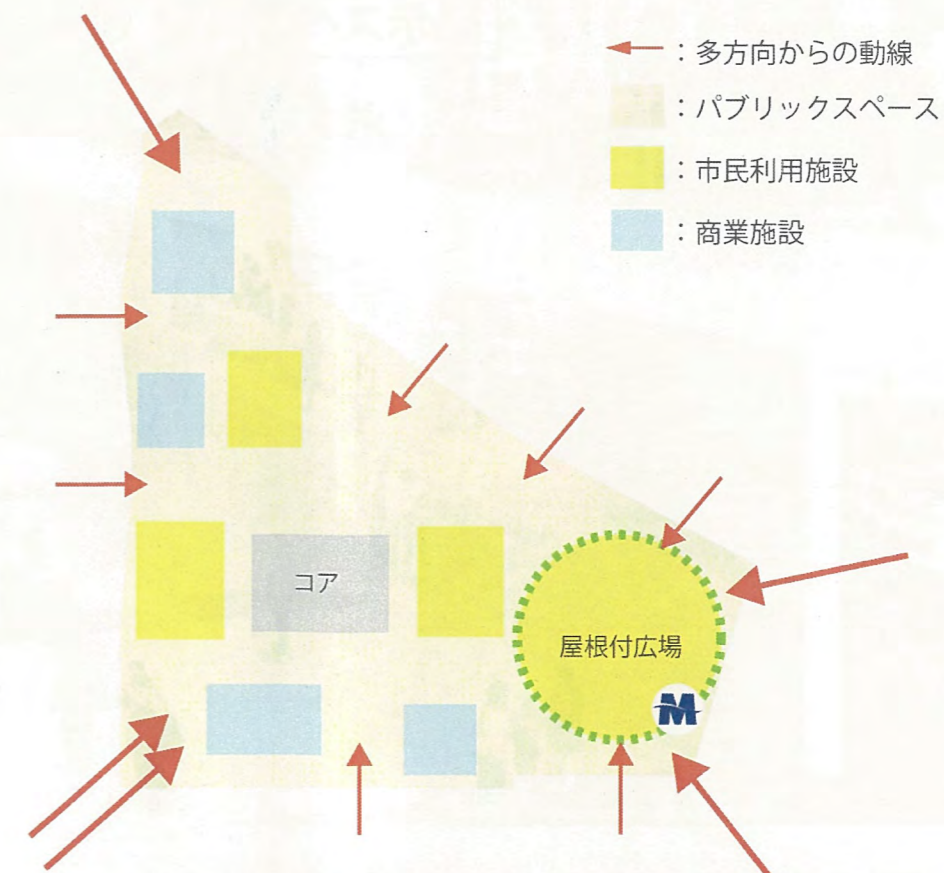
1. 3つの広場と屋根付き広場による歩行者ネットワーク
2. 水辺と屋根付き広場を多様に繋ぐ3層連続の回遊動線
3. 機能が混在する街のようなパブリックスペース
4. 光と風と緑を採り入れた開放的な屋根付き広場と展示スペース



低層部空間構成



水辺と屋根付き広場の動線的、空間的、視覚的つながり



機能が混在する“街のような”パブリックスペース



屋根付き広場の位置づけ(横浜市新市庁舎デザインコンセプトブック抜粋)

- ・開かれたイメージとし、多方向からの動線の結節点の中心であると同時に多様な活動、賑わいを創出する場
- ・屋根付き広場、外部広場、市庁舎低層部、水際線オープンスペースとのつながりを意識し、一体的に使えるよう考慮
- ・広場(含 屋根付き広場)は、柔軟性、可変性を持ったしつらえ

多様な活動に対応するしつらえ

式典・イベントスペースとして  
 日常の市民の憩いの場・活動の場として  
 芸術・文化のための場として



開かれた市庁舎の中心となる屋根付き広場:馬車道駅に直結するエントランス, 外部広場への開放, 低層部パブリックスペースとの一体的つながり



横濱ジャズプロムナード



YCCヨコハマ創造都市センターとの協働  
 市民サークルや市民向け情報発信



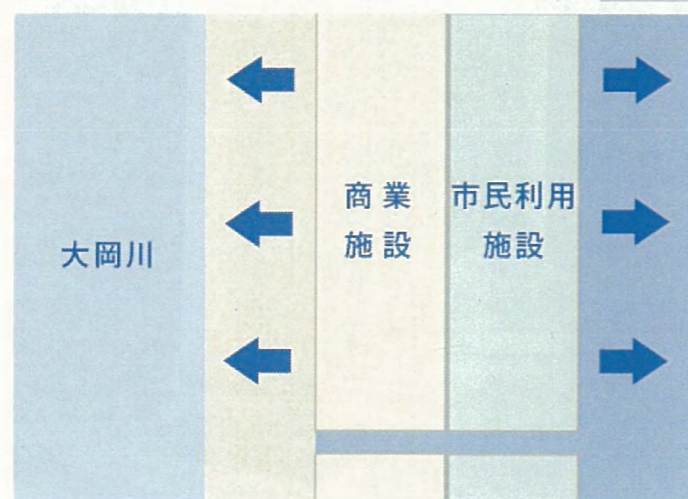
横浜トリエンナーレ



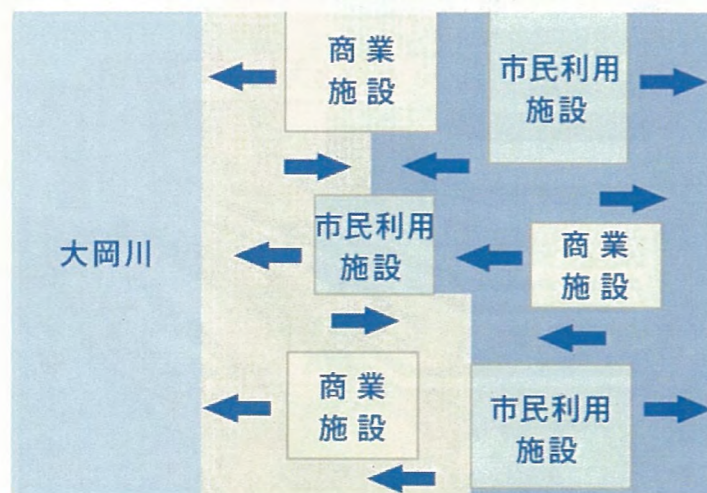
水際の親水性の向上と水域の利用

(横浜市新市庁舎デザインコンセプトブック抜粋)

- ・水辺「に」開くのではなく水辺「を」開く
- ・水辺からのアクセスや視点を重視
- ・水辺や水上の様々な活動や賑わいとその多様性をサポート



水辺に開く



水辺を開く  
(まちが主体の相互方向の関係)

横浜らしい水辺のデザイン

- ・水際線プロムナードに沿って立体的に展開される緑のカスケード
- ・街のような低層部につながる開放的なデッキテラス
- ・水辺の賑わいを創出する広場、プロムナード、溜まり場、船着き場
- ・横浜の歴史を見る新しい視点場を創出する2階デッキテラス



水辺を開く大岡川の水際線プロムナード

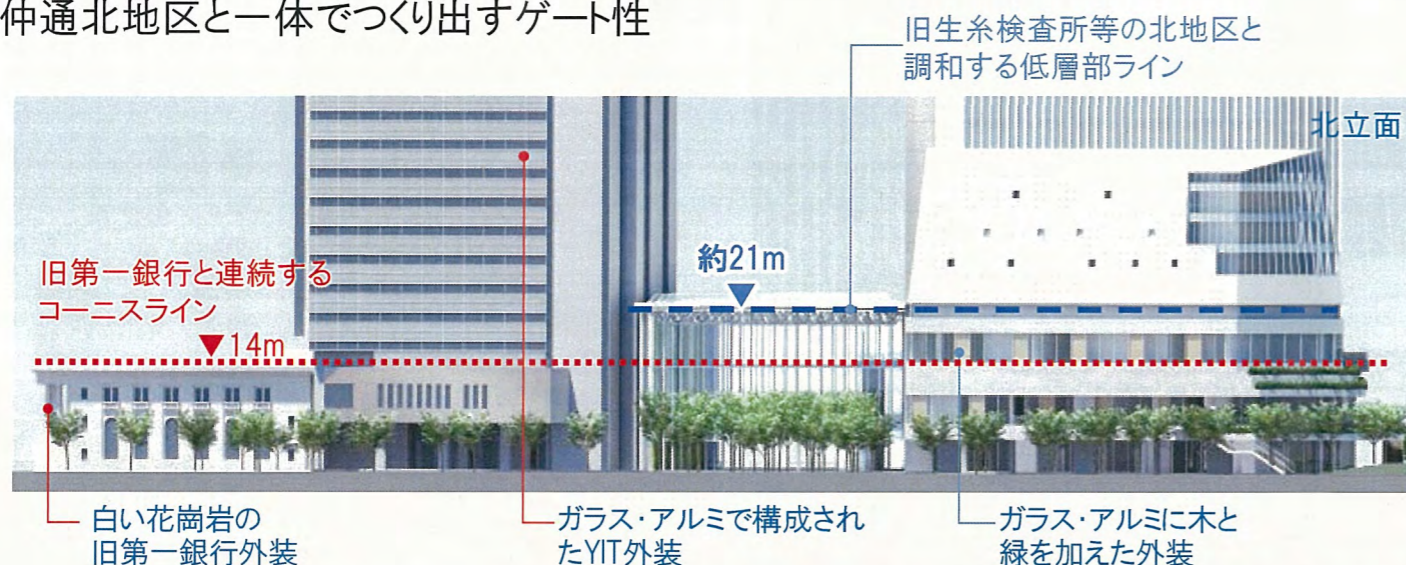


歴史・中低層部ファサード(横浜市新市庁舎デザインコンセプトブック抜粋)

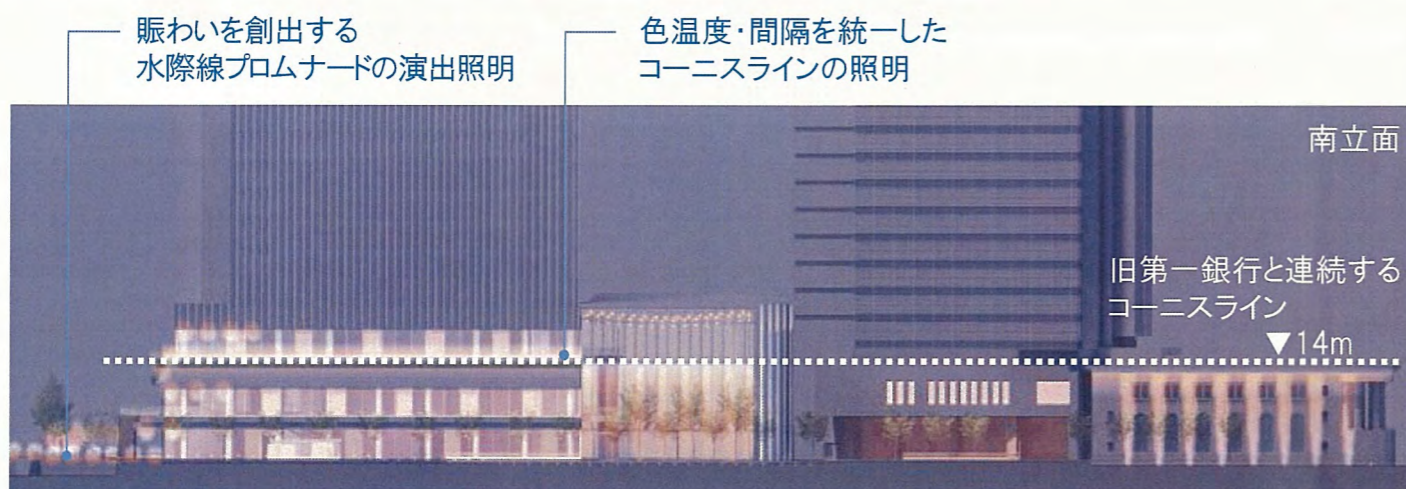
- ・地域の持つ歴史性の尊重を、高度なデザインへの工夫により表現
- ・歴史性を共通項とした北仲通南地区の連続性とともに、その時代の先進性を表す新しい建築
- ・歴史的護岸や北仲通北地区の一連の歴史性とのつながり

中低層部のファサードデザイン

- ・旧第一銀行のコーニスラインに連続する低層部ライン
- ・北地区の旧生糸検査所等に調和する低層部デザイン
- ・北仲通北地区と一体で作り出すゲート性



歴史の重層性を尊重する昼間の街路景観



落ち着いたある夜の街路景観



議会棟の視認性を高める配置と形態



歴史的護岸を活かした水辺空間の創出

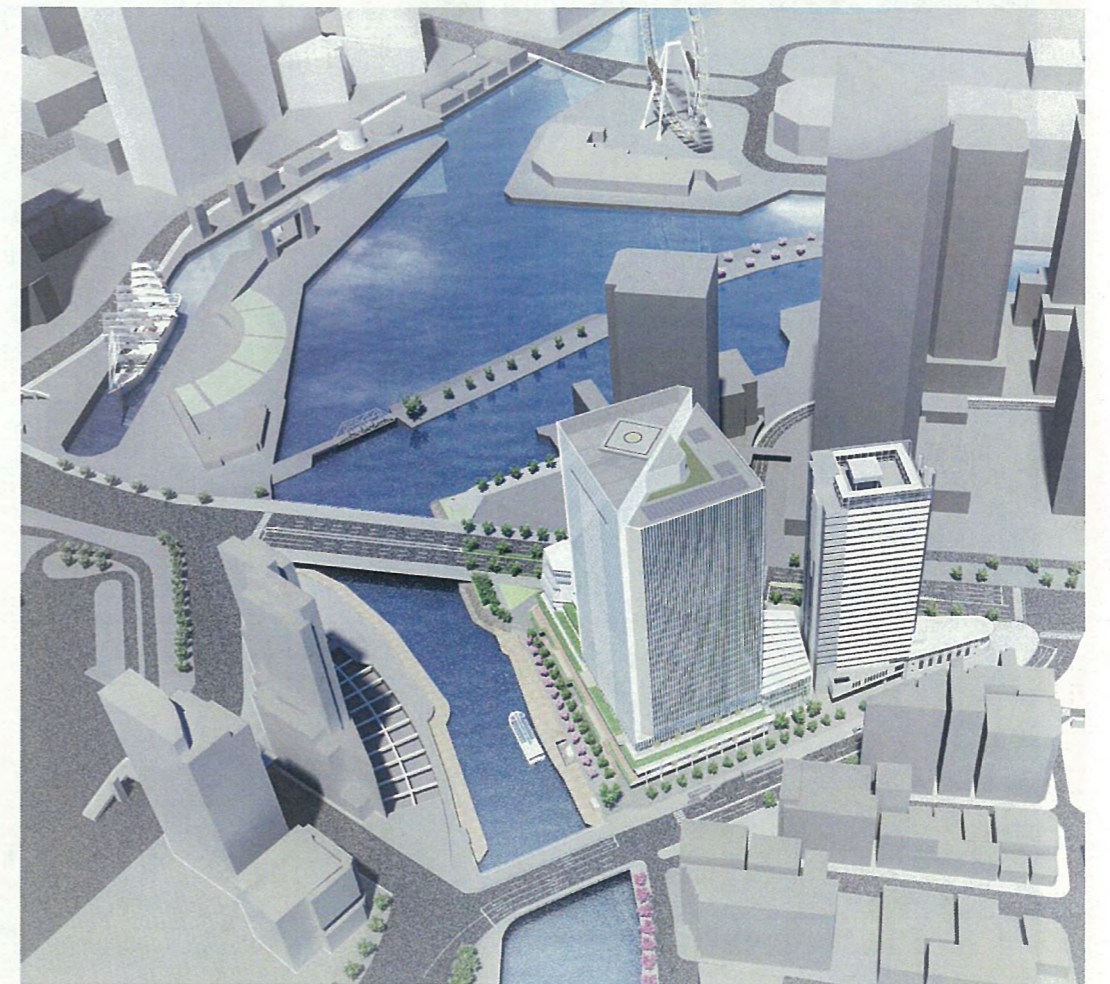




弁天橋方面からの外観



結節点としての周囲との景観のつながり



ボリュームを分割し横浜アイランドタワーと連続する群景観





横浜みなと博物館方面からの外観：北仲通北地区と一体で作り出すゲート性





北仲橋方面からの近景外観



弁天橋方面からの近景外観(夜景)





屋根付き広場(アトリウム)内観:開かれた市庁舎の中心となる屋根付き広場